

**製品名: AKT ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01335**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 56 kDa; Observed MW: 56 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AKT1/AKT2/AKT3
別名	AKT1
遺伝子 ID	207/208/10000
SwissProt ID	P31749/P31751/Q9Y243
免疫原	-

**背景**

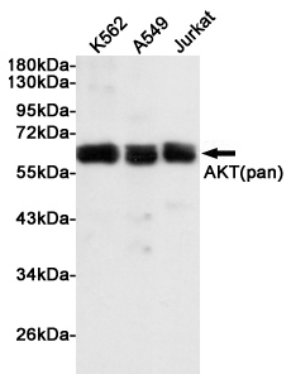
Akt (PKB または Rac と呼ばれる) は、生存とアポトーシスの制御において重要な役割を果たします。このタンパク質キナーゼは、

インスリンや様々な増殖因子・生存因子によって活性化され、PI3 キナーゼを介したワートマンニン感受性経路で機能します。Akt は、リン脂質結合と PDK1 による活性化ループの Thr308 のリン酸化、およびカルボキシ末端の Ser473 のリン酸化によって活性化されます。

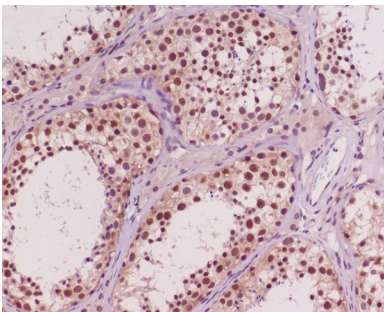
## 研究分野

シグナル伝達

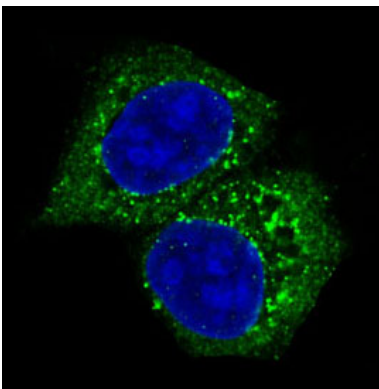
## 画像データ



AKT 抗体を使用した K562、A549、Jurkat 溶解物中の AKT のウェスタンブロット分析。



AKT 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



AKT 抗体を用いた MCF-7 における AKT の免疫蛍光分析。